

3 ことばを聴く



アイヌ語ってどんなことば？

The Nature of the Ainu Language 愛努語是什么样的語言呢？
愛努語是什麼樣的語言呢？ 아이누어란 어떤 말인가? Айыык айыыы

かつてアイヌ民族は、自分たちの〈ことば〉であるアイヌ語で生活していました。明治以降、日本語による教育をはじめとする同化政策が進められた結果、人びとは、人前ではアイヌ語を話さず、子どもにもあえて教えようとはしなくなります。このためアイヌ語は、くらしのなかから姿を消していきました。ラジオやテレビといった新しい娯楽が登場したことで、物語や歌、踊りなどを楽しむ機会が減少していったことも、それに拍車をかけました。

The Ainu people since used their own language in their daily lives. Beginning in the Meiji era (1868-1912), assimilation policies, such as Japanese language education, resulted in a growing reluctance of the Ainu to use their own language in public, or teach it to children. This language gradually faded from daily use. Efforts to revive the Ainu language began in earnest in the 1980s, but have faced a number of serious issues, such as the difficulty of training potential language teachers, and the lack of general social systems to support the language revival.



見て 聞いて アイヌ文化の世界

ここでは、アイヌ民族の口承文芸や芸能の映像を実際に視聴することができます。字幕はアイヌ語と日本語だけではなく、映像と音だけでも物語を楽しむことができます。

大きいモニターでは、口承文芸や歌、踊り、楽器の主なものを短く紹介する映像を見ることができます。小さなモニターでは、いろいろな種類の物語や歌を、地域による違いなどにも触れながら深く知ることができます。アイヌの物語をもとにしたアニメーションも見ることができます。

アイヌ民族は、自分たちの〈ことば〉であるアイヌ語で、口承文芸や芸能といったさまざまな文化を育んできました。

口承文芸とは、文字で書かれたものを読むのではなく、聞き手が語り手の話を聞いて楽しむことで伝えられてきたものです。アイヌの口承文芸にはいろいろなジャンルがあります。例えば、「神謡」とよばれるものは、それぞれの物語にテーマソングのような繰り返り部分があり、はじめて聞く人でも親しみやすい物語です。

アイヌ民族の伝統的な歌や踊り、楽器は、儀式などの場や日常生活を通して、それぞれの地域や家庭で伝えられてきました。ともに歌い踊ることは、自分たちが楽しむだけではなくカムイたちにもよるこばれると考えられてきました。楽器のなかでは、竹でできたこうきん口琴「ムックリ」や、主にサハリンからふと(樺太)のアイヌが伝えてきた五弦琴「トンコリ」が、現在でもよく演奏されています。

明治時代以降、日本語による教育をはじめとする同化政策が進められた結果、多くの人びとは、人前ではアイヌ語を話さず、子どもにもあえて教えようとはしなくなります。このためアイヌ語は、くらしのなかから姿を消していきました。ラジオやテレビといった新しい娯楽が登場したことで、物語や歌、踊りなどを楽しむ機会が減少していったことも、それに拍車をかけました。

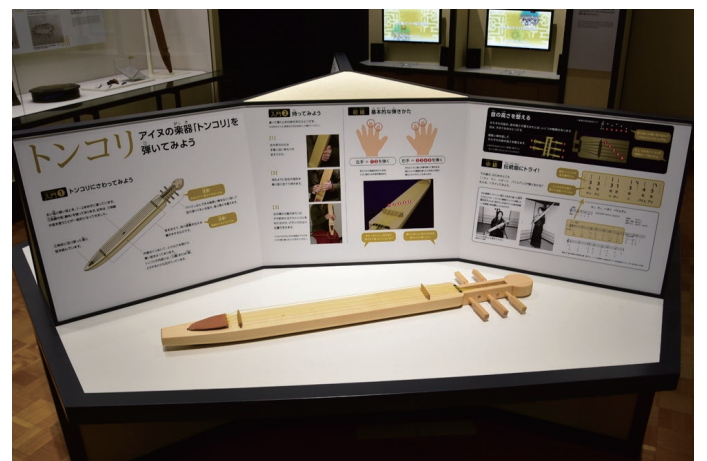
そのような時代のなかでも、和人の研究者だけでなく、自らペンや録音機を使って、物語や歌などを記録したアイヌの人たちがいます。また、地域や家庭のくらしのなかで、昔からの歌などを大事にしてきた人たちもいました。1970年代に入ると、アイヌ語や口承文芸、伝統芸能の継承や復興をめざす動きもさかんになります。現在の私たちが、アイヌ民族の口承文芸を聴いたり、芸能に触れたりするとき、その背景に、明治以降のこのような歴史があること、そして、復興や継承はまだまだ道半ばであることを忘れてはなりません。

見て 聞いて アイヌ文化の世界



アイヌ語の記録と調査の歴史

アイヌ語が話されなくなっていく時代にあっても、アイヌ民族を含めたさまざまな人たちがアイヌ語の記録や調査を続けてきました。このコーナーでは、主な研究者や、自らアイヌ語を書き残したり、地域の古老たちから物語や歌を録音した人たちを紹介しています。また、こうした人びとがアイヌ語の物語や伝統的な生活文化などを筆記したノートや、1930年代に録音されたレコード、当時の録音に用いたマイクなど、記録と調査の歴史を物語る資料を展示しています。



アイヌの楽器「トンコリ」を弾いてみよう

サハリン(樺太)のアイヌが伝えてきたトンコリ(五弦琴)を手にとって弾くことができます。そっと指先で弦をはじめてみると、その音色を聞くことができます。きちんとした持ち方や弾き方なども、イラストで紹介しています。